

令和5年度横浜市勤労者福祉共済事業計画(案)

1 予算概要

(単位：千円)

項 目	5年度 予算案	4年度 予算	増△減	増 の 理 由
歳入	558,030	513,759	44,271	
掛金収入	435,000	426,000	9,000	令和4年度予算から1,500人増
基金繰入金	0	0	0	
その他収入	1,034	1,010	24	広告収入増
他会計繰入金	16,996	15,696	1,300	給与改定に伴う増
前年度繰越金	105,000	71,053	33,947	
歳 出	558,030	513,759	44,271	
総務費	174,622	137,981	36,641	・共済システム更新 ・運営事務費（会員増による事務量及び光熱費等の増）
給付事業費	178,742	176,922	1,820	慶弔金、祝い品の増
福祉事業費	203,656	197,846	5,810	・宿泊補助費用の追加 ・スポーツ・レクリエーション行事拡充（ギフト券等補助費用の追加含む）
基金積立金	10	10	0	
予備費	1,000	1,000	0	

【増額項目】

(1) 総務費用

ア 共済システム更新

会員情報を管理している共済システムについて更新が必要なため増額計上しました。

(2) 給付事業

ア 慶弔金

156,610千円（4年度（155,738千円）

イ 祝品

22,132千円（4年度（21,184千円）

※ア、イとも予定件数の増による

(3) 福祉事業

ア 宿泊補助費用

提携旅行会社を通じ、宿泊申込をする場合や提携宿泊先を利用する場合、宿泊補助券を利用することによって割引が受けられます（2,000円×5枚発行）

提携先の拡大及び新型コロナウイルス5類への移行に伴う需要を見込んだ増。

イ スポーツ・レクリエーション行事

各種チケット優待、イベント・スポーツ大会等の優待や、イベント開催に伴う費用やショッピングで利用可能な、ギフト券等の補助費用等です。令和5年度に新規で行う企画（加入16年目以降のプレゼント企画等）を見込んだ増。

2 事業概要

(1) 給付事業

結婚、出産、入学祝、結婚記念祝、傷病見舞金、死亡弔慰金、加入褒賞金
(5・10・15年)、小・中学校入学祝品・永年勤労祝品の8種類

(単位：千円)

項目	5年度予算案		4年度予算		増△減	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
慶弔金	17,530	156,610	17,325	155,738	205	872
祝品 (小・中学校入学、 永年勤労)	4,750	22,132	4,571	21,184	179	948
計	22,280	178,742	21,896	176,922	384	1,820

(2) 福祉事業

ハマふれんどで直接提供する事業と総合福利厚生サービス「ベネフィット・ステーション」を組み合わせ、多様なサービスを提供します。

※ハマふれんど独自事業として提供するものは「独自」と表記、「ベネフィット・ステーション」で提供するものは「B・S」と表記しています。なお、施設数等は提供予定数です。

ア 健康を促進するサービス

(ア) 人間ドック等健診の補助 (独自)

会員と配偶者を対象に、検診機関での人間ドック・生活習慣病健診・脳ドック受診の優待利用提供

(人間ドック補助：会員と配偶者対象それぞれ年度内1回・各5,000円補助)

(イ) スポーツ大会の企画・開催 (独自)

ソフトボール、フットサル、テニス大会、ゴルフコンペの大会の企画・開催

(ロ) スポーツ施設の優待あっせん (B・S)

市内及び近郊のスポーツクラブ優待利用提供

(エ) メンタルヘルス等相談ダイヤルの提供 (B・S)

健康に関する無料相談ダイヤル設置

(オ) 健康オンラインセミナーの提供 (B・S)

無料で提供。LIVE配信以外にアーカイブ提供もあり。

イ 生活を支えるサービス

(ア) 育児支援サービスの提供 (B・S)

- ・託児所やベビーシッターの提携割引、育児用品・幼児教育の優待あっせん等
- ・一時保育、月極保育等への育児補助金
- ・育児、託児についての無料相談ダイヤル設置

(イ) 介護支援サービスの提供 (B・S)

- ・介護保険対象サービス、介護用品購入への補助
- ・介護用品の提携割引
- ・介護についての無料相談ダイヤル設置

(ロ) 家事サポートサービスの提供 (B・S)

- ・家事代行業者との提携割引、宅配弁当の割引
- ・家事代行サービスへの補助
- (エ) 家事代行サービス補助（独自）
家事代行サービスへの独自補助
- (オ) 各種研修の企画・開催及び優待あっせん（独自）
新入社員セミナー等の企画・開催
- (カ) 各種資格取得の支援（B・S）
無料eラーニングによる研修の利用提供（700タイトル以上）
- (キ) 出会いの場の設定及び支援（独自+B・S）
・婚活恋活パーティー等の企画・開催
・結婚相談所等での会員特典
- (ク) 優待価格で購入が可能な特約店舗等の提供（独自+B・S）
・有名衣料品チェーン店の商品券を優待価格提供
・会員証、クーポン提示による優待利用提供

ウ 余暇を有意義にするサービス

- (ア) 宿泊補助（独自+B・S）
宿泊補助券 年間最大10,000円（@2,000円×5泊（人）まで）
・指定旅行会社での国内外ホテル、旅行商品等に対する利用補助
・直接予約が可能な宿泊施設に対する利用補助
・ハマふれんどで実施する宿泊イベントに対する利用補助
・ベネフィット・ワン直営宿泊施設
・宿泊補助利用施設の拡充
- (イ) 各種旅行ツアー等の優待あっせん（独自）
宿泊施設の特別プランなどの利用提供
- (ウ) 各種チケットの優待あっせん（独自+B・S）
野球・サッカーなどのスポーツ観戦、ミュージカル・歌舞伎・コンサート、落語等の公演チケットの優待提供
- (エ) 飲食店等優待価格での提供（独自+B・S）
・有名飲食チェーン店の商品券を優待価格提供
・デジタルギフト券の優待価格提供
・会員証提示やWEBサービスによる優待利用提供
・味覚狩り等の割引補助券提供
- (オ) 各種レジャー施設の優待利用提供（独自+B・S）
・市内レジャーや関東近郊のレジャー施設の優待価格提供（独自）
・映画館、全国レジャー施設の優待利用提供（BS）

エ その他事業者や会員及びその家族の福利厚生の寄与するサービス

- (ア) 無料プレゼント企画の実施
・アンケート、福袋、若手社員応援企画等の抽選プレゼント（独自）
・ライフイベントのお祝いプレゼント企画、抽選会実施など（BS）
- (イ) 商店街応援企画の実施
・参加商店会で利用できる補助券の提供
- (ウ) 障害者施設等との連携実施
・ふれあいショップの割引補助券の提供
- (エ) 加入16年目以上感謝企画の実施
・抽選で図書カードをプレゼント
- (オ) その他の企画

・みなとみらいSUP体験、地引網体験イベントなど体験型イベントの実施

(3) ホームページの作成・設置・管理・運営

事業紹介、各制度の説明、News掲載行事のホームページによる受付、お知らせの掲示、会員証再発行の受付、各種申請用の申請書ダウンロード、新規加入の資料請求の受付、B・Sサイトへのログイン入口、イベント実施後のレポートの掲載、経営者向けコラム掲載、Twitter表示、加入事業所の紹介ページの掲載他

(4) SNSでの情報発信

Twitterによる情報発信

※Twitterは令和3年4月開始。

※LINEは令和5年度下期開始予定

(5) 加入促進

ア 加入促進用パンフレットの作成及び配布

イ 市内中小企業へのダイレクトメールの作成及び発送、電話勧誘及び訪問勧誘の実施

ウ 市内事業者団体への働きかけ

エ 加入事業所への新規加入事業所紹介制度の実施

オ 交通機関のほか、加入促進に効果のある広告掲出

カ 営業派遣等による加入企業への追加加入の促進やニーズ把握等の実施

キ その他、新規加入会員数増加に効果のある活動

(6) ハマふれんどニュース・ガイドブック等の発刊

ア 新規加入者に対する事務の手引書の作成及び発行（随時）

イ 加入者に対する令和5年度ガイドブックの作成及び発行（4月）

ウ 次年度（令和6年度）のガイドブックの作成準備

エ 加入者に対する「ハマふれんどニュース」の作成及び発行（偶数月及び7月、1月計年8回）

オ 加入促進用パンフレットの作成及び発行（随時）

(7) 会員ニーズ等の把握

ア 福祉事業関連業務の応募や利用の状況、競争率等のデータの把握

イ 事業についてのアンケートを実施

オ サービス利便性及び事務効率化のためのデジタル化の検討

・利用実績把握ツールの構築、企業担当者様向けポータルサイトの構築検討開始等

【参考：会員数の状況】

1 会員数の推移

	各年度3月現在の加入者数		対前年度増減	
	事業所数	会員数	事業所数	会員数
30年度	4,493社	66,966人	△47社	2,280人
元年度	4,472社	68,999人	△21社	2,033人
2年度	4,414社	71,358人	△58社	2,359人
3年度	4,369社	71,353人	△45社	△5人
4年度 ※3/1時点	4,356社	72,741人	△13社	1,388人

2 新規加入者数の推移

	新規加入者数		増△減 (対前年度)	
	事業所数	会員数	事業所数	会員数
30年度	161社	2,032人	△40社	193人
元年度	178社	2,403人	17社	371人
2年度	143社	1,350人	△35社	△1,053人
3年度	135社	1,850人	△8社	500人
4年度 ※3/1時点	180社	1,853人	45社	3人

3 脱退者数の推移

	脱退者数		増△減 (対前年度)	
	事業所数	会員数	事業所数	会員数
30年度	208社	806人	△23社	△257人
元年度	199社	1,204人	△9社	398人
2年度	201社	971人	2社	233人
3年度	180社	2,150人	△21社	1,179人
4年度 ※3/1時点	193社	1,112人	13社	△1,038人